

# VB.net カスタムコントロール 利用マニュアル

## Selector 編

- ・コンボボックス
- ・リストボックス
- ・チェックドリストボックス
- ・チェックボックスリスト
- ・ラジオボタンリスト

開発者 : TECH-BEE

メール : [tech-bee@mail.goo.ne.jp](mailto:tech-bee@mail.goo.ne.jp)

ブログ : <http://blog.goo.ne.jp/tech-bee>

# ● コントロール説明

## 概要

必要な条件を与えることにより該当する項目をコントロール内に展開する  
データベース接続情報およびSQLの全てを与えた時点で値を取得するためにオプション項目は先に設定して下さい

## コントロールの種類

### CheckBoxList

必要なパラメータを与えることにより、SQLにて取得した項目分のチェックボックスを展開する  
展開方向を縦横に指定するところが他のコントロールの違いです。  
※ Webコントロールの CheckBoxList とほぼ同様の仕様です。

### CheckedListBox

必要なパラメータを与えることにより、SQLにて取得した項目分を CheckedListBox に展開する  
※ CheckedListBox を継承しています。

### ComboBox

必要なパラメータを与えることにより、SQLにて取得した項目分を ComboBox に展開する  
※ ComboBox を継承しています。

### ListBox

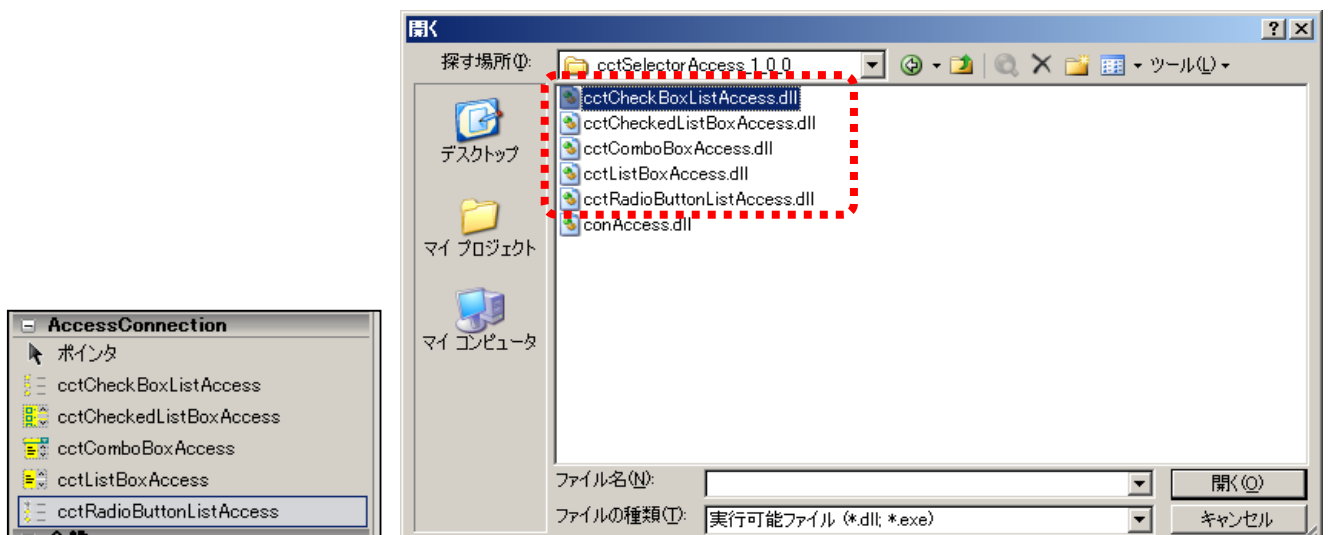
必要なパラメータを与えることにより、SQLにて取得した項目分を ListBox に展開する  
※ ListBox を継承しています。

### RadioButtonList

必要なパラメータを与えることにより、SQLにて取得した項目分のラジオボタンを展開する  
展開方向を縦横に指定するところが他のコントロールの違いです。  
※ Webコントロールの RadioButtonList とほぼ同様の仕様です。

## 設定方法

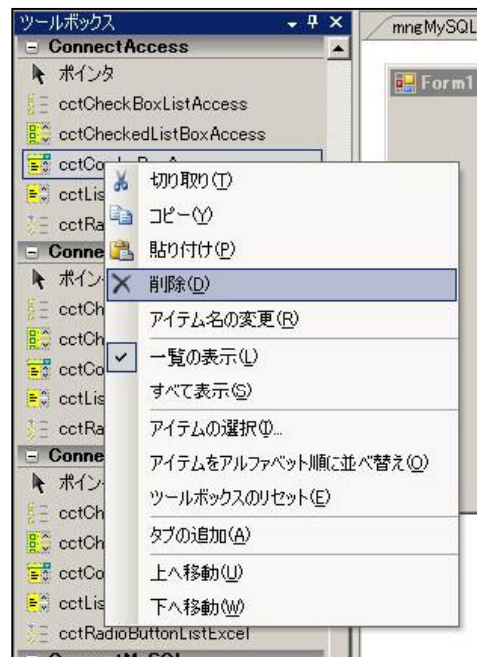
- 1 開発画面のツールボックス上で [ 右クリック ] → [ タブの追加(A) ] → タブ名称入力
- 2 追加したタブ内で [ 右クリック ] → [ アイテムの選択(I) ] → ツールボックスが開く
- 3 ツールボックスから [ 選択(S) ] → ファイルオープンダイアログボックスが開く



- 4 5 種類のカスタムコントロールを順次指定する ( [ 開く(O) ] と [ 選択(S) ] のトグル)
- 5 追加したタグに 5 種類のコントロールが追加される

## 解除方法

- 1 ツールボックス上で不要になったアイコンを右クリックして削除する



# ● プロパティ一覧

## ■ プロパティ設定項目

種別	プロパティ名称	コントロール名				
		CheckBoxList	CheckedListBox	ComboBox	ListBox	RadioButtonList
設定値	データベース接続情報 (下記)	◎	◎	◎	◎	◎
	SQL 値を取得する為の SELECT 文	◎	◎	◎	◎	◎
	ShowCode 一覧に対するコードの表示	△	△	△	△	△
	RepeatDirection 展開方向 (縦 : 横)	△	-	-	-	△
	VerticalInterval 縦方向展開時項目間隔	△	-	-	-	△
	HorizontalInterval 横方向展開時項目間隔	△	-	-	-	△
戻り値	CODE 選択した項目のコード	-	-	◎	-	◎
	CODES 選択項目のコード (カンマ区切り)	◎	◎	-	◎	-

## ■ データベース接続情報

データベース製品名	UID	PWD	DBN	SRV	PRT	FNM	DNM	HDR	ITEM	データベース名	テーブル
CSV	-	-	-	-	-	-	◎	◎	-	フォルダー名	.csv ファイル名
Microsoft Access	-	△	-	-	-	◎	-	-	-	.mdb ファイル名	テーブル名
Microsoft Excel	-	△	-	-	-	◎	-	-	-	.xls ファイル名	シート名に\$付加
Microsoft SQLServer	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	データベース名	テーブル名
MySQL	◎	◎	◎	◎	△	-	-	-	-	データベース名	テーブル名
Oracle	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	-	データベース名	テーブル名
PostgreSQL	◎	◎	◎	◎	△	-	-	-	-	データベース名	テーブル名
SQLite	-	△	-	-	-	◎	-	-	-	.db ファイル名	テーブル名
Text	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	-	-

※注釈

UID ユーザー名  
PWD パスワード  
DBN データベース名  
SRV サーバー名  
PRT ポート  
FNM ファイル名  
DNM ディレクトリ (フォルダー) 名  
HDR ヘッダ (項目名)  
ITEM カンマ区切りで表示項目の文字列を与える  
ex) 1, 太郎, 2, 花子

◎ 必須項目  
△ オプション

※ 補足 : データベース名とテーブル名の関係

# ● プロパティ説明

## 設定値

### データベース接続情報

UID	データベースに接続するためのユーザー名
PWD	データベースに接続するためのパスワード
DBN	接続するデータベース名
SRV	接続するデータベースが稼働しているサーバー名
PRT	データベースに接続するためのポート デフォルト値は、MySQL : 3306 / PostgreSQL : 5432 が設定してあるので変更がなければ指定不要
FNM	データベースファイル名
DNM	CSVファイルを格納したディレクトリ名
HDR	1行目が項目名であるかどうか (“YES”: 項目名 / “NO”: データ)
TEXT	コードと名称を順番にカンマ区切りで記述した文字列 (ex. “1, 太郎, 2, 花子”)
SQL	表示するデータを取得するための SELECT文で、取得項目は次のようにする 1   コード 2   名称
ShowCode	表示項目にコードを含めるかどうかを指定する (初期値 : -1) -1   コードを表示しない 0   コードを表示する (最も長いコードの幅に揃える) 1 以上   コードを表示する (指定した桁数でコードを表示する)
RepeatDirection	コントロールを展開する方向を指定する (初期値 : FALSE) TRUE   縦方向 FALSE   横方向
VerticalInterval	縦方向に展開する際のコントロール間隔を指定する (初期値 : 0)
HorizontalInterval	横方向に展開する際のコントロール間隔を指定する (初期値 : 0)

## 戻り値

CODE	ComboBox, RadioButtonList にて選択したコード
CODES	ListBox, CheckedListBox, CheckBoxLayout にて選択したコード (カンマ区切りにより複数定義) ※ ListBox については、複数選択可能にいただいた上で複数の戻り値が得られるようになります。

※ その他一般的なプロパティは全て隠蔽せずに残してありますので、本来のコントロールと同様にご利用下さい